



# 千葉労働動員

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番

(公) 043 (222) 7207 番

98.9.21 No. 1849

## 大失業と戦争の時代に通用する 新しい世代の動労千葉を

### 第26回定期大会の 成功をかちとろう！

第26回定期大会(9月27、28日)に全力で結集しよう！

動労千葉は来年3月、結成20周年を迎える。第26回大会は、この記念すべき節目にあたって、動労千葉の大きな飛躍をかけた闘いの方針を決定する重要な大会だ。全組合員の声を結集して闘う方針を確立しよう。

#### 結成20周年に向けて

動労千葉結成20周年の年は、きしくもあらゆる意味で戦後史の岐路となろうとしている。国鉄闘争も十有余年の闘いの勝敗を左右する最大の正念場を迎えている。労働運動が果てしなく後退をつづけ、労働者が未曾有の攻撃にさらされて状況のなかで、抑えがたい怒りの声が響きはじめ、動労千葉への期待の聲はかつてなく高まっている。動労千葉も新たな飛躍のときを迎えている。その土台は、28名全員の解雇撤回を実現した昨年の大きな勝利で築かれている。われわれが実現すべき課題は、①より一層の団結強化と組織拡大②激動の時代にたち向かい、情勢をきりひらく力をもった運動への飛躍だ。

国鉄闘争と階級的労働運動の解体を狙う5・28反動判決を弾劾し、一〇四七名の解雇撤回・原職復帰をかちとろう。JR総

連合体・組織拡大の取り組みと反合・運転保安闘争への総決起を軸に、JR体制との闘いを全面的に強化しよう。闘う労働運動の新しい潮流の本格的な発展をかちとろう。そして、大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動労千葉を創りあげよう。

#### 時代の変革をめざし

われわれは今、大きな歴史的分岐点にたっている。資本主義体制の危機が加速度をつけて進み、世界恐慌と戦争の危機が現実化しつつある。世界を覆う危機は、連鎖のように相互にはね返って、もはやコントロールのきかない状態だ。企業倒産と首切り・失業が激増し、世界の経済は悪循環的に収縮している。今世界には行き場を失った過剰な資本、過剰な生産力があふれ返っている。行き着く先は、そのはげ口を求めて資本と資本、国家と国家が蹴落とし合う泥沼のような関係だ。

小淵政権は、今臨時国会で、新ガイドライン関連法―有事立法の制定と、労働法制の抜本的な改悪、そして労働組合を始めとした団体の取り締りを狙う組織的犯罪対策法―盗聴法の制定を狙っている。有事立法の制定とは、これまでの社会のあり方が全てにわたって一変すること

を意味する。労働法制の改悪は、労働組合の団結を破壊し、労働者と家族の生活や権利、労働条件を根こそぎ覆す攻撃だ。

このときに、労働組合がいかなる立場で闘うのかが問われている。われわれは、第26回大会を出発点にして、闘う労働組合の全国ネットワークを創りあげ、全国の仲間たちに呼びかけを発する。

#### 正念場の国鉄闘争!

国鉄闘争も最大の正念場を迎えている。一〇四七闘争の勝利のために、今何よりも求められている課題は、国労大会に示された主体の側の危機を打破して、国鉄闘争の原点、労働運動の原則にたち還り、確固とした闘いの路線と方針を確立することだ。

5・28判決で、国家権力は、国鉄闘争を力づくでおし潰す意志を明らかにしたにとどまらず、今後不可避に起きるであろう労働者の反乱や闘いに対して、労働法規など無視して、徹底的に弾圧することを宣言した。だから5・28判決は、労働運動にとって歴史を画するような意味をもつ重大な攻撃だ。

国労全国大会で、突如執行部から提起された「補強案」は、国労を自らの手で解体するに等しいものである。まさに5・28反動判決へ全面屈服に他ならない。しかし、大会に結集した国労の仲間たちの怒りの声は、「補強案」を継続審議に追い込んでいく。国労大会をめぐって起きた問題は、まさに大失業と戦争の

時代における日本労働運動の路線をめぐる攻防戦に他ならない。国労を始め、全国の仲間たちに呼びかけて大討論をまきおこし、「補強案」の白紙撤回と、階級的労働運動の原則にたつた国鉄闘争の路線・方針の再確立をめざそう。

#### 強制配転者を原職に

またわれわれは、職場に山積した課題の解決に向けて、全力で決起しなければならない。とくに、強制配転された仲間たちの原職復帰、予科生の土職登用に向けた風穴をこじあけるために、今春闘での二波のストライキをひきつづき第三波のスト配置をはじめ、組織をあげた総行動を展開する。この闘いは、われわれにとってまさに最重要の課題だ。そのためにも、JRとJR総連・革マルの結託体制を打ち破って、何としても組織拡大を実現しなければならない。

また、運転保安の危機が決定的に深刻化している。新たな大合理化攻撃が矢継ぎ早に提案されている。JR貨物の危機も、一線を越えて深刻化しており、その一切の犠牲が労働者を襲っている。われわれに問われているのは、分割・民営化体制打倒の闘いであり、反合・運転保安闘争の全面的な強化である。われわれは、恒常的ストライキ体制を断固として堅持・強化して、全力で反撃に討つていく。全組合員の力を結集し、第26回提起大会の成功をかちとろう。